

【休診のご案内】

ひだクリニック：土曜・祝日 休診 7月11日臨時休診  
ひだクリニックセントラルパーク：水・日曜日祝日休診  
お盆休み：ひだクリニック 8月11日～13日（13日わいわい講座実施）  
セントラルパーク：8月10日～14日

急に具合が悪くなった場合は、主治医がいなくても応急対応をいたしますのでご相談ください。休診の場合は、空いている方のクリニックで対応いたしますので、まずは、お電話にてご連絡ください。

自立支援は登録医療機関のみご使用になれます。



【ご案内】

日曜日の家族教室は、ひだクリニック3階るえかホールにて行っております。

- 7月16日（日）10時～12時 家族 SST
- 7月16日（日）14時～16時 サイコドラマ
- 7月23日（日）10時～12時 ふぁみりーテーブル基礎講座  
「病気について」 ひだクリニック院長 肥田裕久
- 8月 3日（木）16時半～20時 クローバーファミリー  
～ぶーけ家族懇談会と家族 SST～ セントラルパークにて
- 8月 6日（日）10時～12時 「べてる式家族当事者研究」
- 8月12日（土）の認知行動療法フォローアップ講座は、お休みです。
- 8月13日（日）10時～12時 わいわい講座  
「治療について エクストラ」



【編集後記】

暑い夏がやってきました。由委会はより熱い？厚いサービスが提供できるよう模様替え中です。また詳しいご案内を準備でき次第お伝えしたいと思っております。夏バテしないよう頑張りましょう。（み）



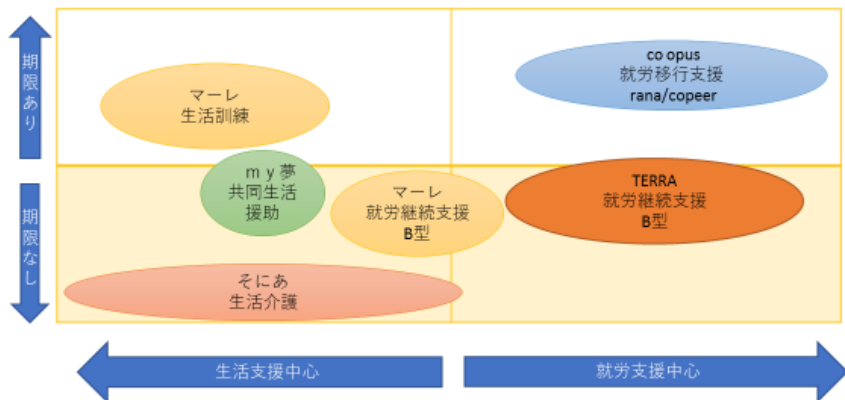
# 株式会社マーズの 就労への取り組み

当院での治療、リハビリとともに株式会社 MARS における福祉サービスがあります。この紙面でも何度か取り上げました、コパス、マーレ、テララなどがそれにあたります。クリニックとしては、デイケアがあり一体どこでどんなリハビリをすれば有効なのだろうかと考えてしまいます。

そこで、今回は株式会社マーズでの取り組みを中心に、各サービスのご案内をいたします。

当院における、心理教育（るえか式心理教育）でお伝えしているように、だぶだぶの服を着ると、着心地が悪いだけでなく、ひっかかって転んでしまったりするかもしれません。リハビリも自分に合ったサイズのものを行わないと、うまく進まなかったり、かえって症状が悪化してしまったりします。

## MARSの障害福祉サービス概念図



MARS 中田健士さんは、上記のような図で、サービスを紹介しています。福祉サービスには期限があります。「期限あり」は、2年間という縛りがありその中でしかサービスを受けることができません。そうすると、たとえば就労移行支援については、2年で就職できる状態になってから就労移行のトレーニングを受けたほうがより効果的ということになります。また、「マーレの就労継続支援B型」より、「TERRAの就労継続支援B型」の方が、就労支援度が高いこともわかります。同じ就労継続支援B型でもレベルが違い、その人にあったサイズを選んでいくことが必要となります。

またこれらのサービスを利用するには、相談支援事業所にて、サービス利用計画を立ててもらふ必要があります。

どんなサービスがあるのかは、その方をよく知るスタッフに相談することが必要です。この概念図にクリニックのデイケアが加わり、さらに当法人以外のサービスもあります。

クリニックにご通院の方は、外来看護師やPSWにお気軽にご相談ください。一緒に考えていきましょう。



## 肥田先生のメディカルコラム Vol.78

「精神科デイケアとは何か。精神科デイケアの本質とは何か」

～その14～

先号では、ソテリアの例を引き、小さい家庭的な環境の中で支援することの意味を述べました。この概念はグループホームにつながります。支援を行う者は寛容な態度で接するというのは、少なくとも一方的な権威の押し付けをしないということです。このところは、昨今のSDM (Shared Decision Making)の考えにつながるのかもしれませんが。加えて、1日24時間、利用者個人に対応するというのは、ACT(包括型地域生活支援プログラム)と似ているところがあるかもしれません。あまり昔の試みを美化してしまうわけにもいきませんが、でも先人の中にあるアイデアを継承することも必要だと思います。

ソテリアは障がい者グループホームのなかで、スタッフは権威的・威圧的なふるまいをせず、障がい者の回復に応じた助言や、時に緊急の介入を心がけました。このような関わりによって、薬の使用量や医療費を抑えることができ、感情の安定や社会性の向上、家族との関係を助けることに成功しています。

しかし、プロジェクト自体はすごく良かったのですが、1980年代の半ばに終了しました。ですが、その支援の方法は、北米、ヨーロッパ、オーストリアなど、保健福祉の制度の異なる国にも受け継がれています。日本では支援の方法そのものというよりは、支援の「概念」が受け継がれている感じになっていると思います。温故知新——古典はいつも新しいのです。

先号ではソテリアの話や支援の概念が継承されていくことの必要性をのべてみました。書籍の紹介です。石原孝二の『当事者研究の研究』(医学書院)という本があります。ここでは、当事者研究を含めやっていることを、反精神医学の“反”ではなく、半精神医学 quasi-psychiatry と呼んでいます。半分医療で半分支援というように混じりあっているということです。1960年代は反精神医学でしたが、私も2010年代は、石原の半精神医学がいいかなと思っています。“半”という字はすごく大切だと思っています。

## お引越しのお知らせ



### \*虹:

るえかで行っていましたが、中年期向けプログラムは7月よりセントラルパークにて、月・木実施となります。

### \*クローバー

セントラルパークぶーけでつっちーのSSTの名で親しまれておりましたクローバーは、9月よりひだクリニックにて毎月第1木曜日18時より行います。

## 楽しかった北海道 るえか旅行



6月19日～21日 2泊3日の旅 楽しい、おいしい時間はあっという間に過ぎてしまいました。



宙麦会&MARS スタッフのバトンリレーのページです。

今月は、看護師の 櫻田さんです

多機能型事業所マーレ

櫻田 睦子

そらむぎをご覧の皆様暑くてジメジメした毎日ですが、いかがお過ごしですか？

昨年10月に、ひだクリニックから、出向という形で、多機能型事業所に異動になりました櫻田です。

るえかやマーレで、懐かしいメンバーにお会いすると「しばらく姿を見ていないから、やめたかと思った」とか、「外来で仕事できなかったからか？」(笑)とか声をかけていただいております。

早いもので、9ヶ月が立ちました。マーレでは、るえかと同じように、るえか式心理教育をベースに、SSTは、もちろんスポーツもプログラムに入っています。生活訓練は、自分の面倒がみれる。地域で生活していける一人暮らしができるが支援目標になります。規則正しい生活リズムが確立できて、決まった時間に決まった場所に来ることから、訓練が始まります。スタートは、9時半から4時までの間なら何時でも大丈夫です。

また、就労継続支援B型事業所は、働きたい気持ちを支援します。週に一回1時間からでも働けます。働いたことのない方でも、大丈夫です。スモールステップで、作業を身につけます。皆様ぜひ、ご見学からお越しください。体験もあります。

そうそう、マーレは、海、海底でお仕事しています。暑い夏涼しい海に来てみませんか？お待ちしております。

次のバトンは、ひだクリニックの比嘉先生にお渡ししたいと思います。